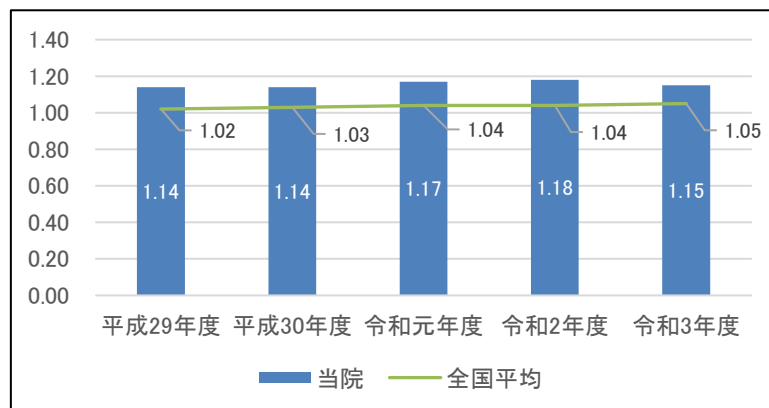


29 在院日数の指標

○項目の解説

厚生労働省から、毎年3,000を超える施設の平均在院日数が、施設名を添えて公開されています。この平均在院日数は、短いほど効率的な診療を行っていると考えられることもありますが、重症のため入院期間を長くする必要がある症例の治療を行う病院のことを十分に考慮していません。そのため、この指標はそうした病気の重症度を加味して各病院の在院日数を評価しています。数値が1の場合は全国平均と同じ在院日数であることを表します。1より大きい場合は短い在院日数であることを表しており、効率的な病院であると考えられます。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

当院は、特定機能病院であり、最北端の大学病院という地域性もあるため、多くの医療圏から治療が困難な重症患者さんを受け入れています。そのため、在院日数が長くなる患者さんが多い傾向にありますが、病院全体で在院日数の適正化に努めており、その結果、本指標において国立大学病院の中でも上位となったことが考えられます。

○定義

厚生労働省のDPC 評価分科会の公開データです。

(当該年度全調査対象医療機関の全体の在院日数の平均値を、DPC毎の患者構成を当該年度全国平均に合わせた際の医療機関別の在院日数で除した値)

参考 URL: https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000196043_00005.html

○算式

指数